陳　情　文　書　表　（平成２７年６月１２日定例会提出）

陳情第２２号

１３回目の地球社会建設決議陳情書

平成２７年５月７日受理

陳情者　●●●●●●●●●●●●●
荒　木　　實

地球社会建設決議草案（戦争のない世界実現への基本原則）

１）　全ての人間が、地球で共同生活をしている地球市民である。地球市民は、地球のとうとさ、人間の尊厳のとうとさ、地球世界の美しさ、人間の美しさを知る者である。

２）　地球社会の安全と繁栄に努力することが、地球市民の基本的義務であり、責任である。

３）　地球社会の目的・目標は、全ての人間の人生を守ることにある。そのため、教育・雇用・生活を保障する社会技術の開発に努めねばならない。この規定は、人類の戦争放棄を意味し、国家の戦争行為、戦争準備行為の権利がないことを宣言するものである。地球市民を暴力から守る「守り人の組織」は、地球社会で一元化されるものである。

４）　人道・人権は地球社会の基本法である。独裁はいかなる形態でも許されない。地球社会は、民主主義が機能する社会格で構築されるものである。行き過ぎた生存競争は、人間の醜悪な心を導き出し、強大な力を求めさせ、この基本法に反することになることを知らねばならない。

５）　陸・海・空の空間、石油他の資源、先人の遺産は、現存する地球市民全員の共有である。地球市民の生活空間は、貸借関係保障によるものであり、多大な占有はあり得ない。地球社会で領土問題はあり得ない。

６）　考えることさえできない時間、そして考えられない偶然の積み重ねで、生命が守られる地球環境がある。この地球環境の保全こそ、全てに優先されるべきである。

以上、決議するものである。この決議により、〇〇町の住民は、地球共同体社会の一員であり、地球市民としての立場を確立した。地球市民は、地球社会の安全と繁栄に寄与すべく、地球社会を危険にするいかなる行為も告発し、また、繁栄のための考えを世界に発信する権利を有する。２０１５年の世界は国際社会であり、強大な国家権力が、強大な破壊力をもてあそび、その強弱を競い、世界の破壊に顧慮することなく、生存競争を展開している、極めて、危険で恐ろしい世界である。人々は強大な国家権力に支配され、従属し、軍備を容認し、その生存競争を是認し、世界の破局に歩んでいるのが、２０１５年の世界である。世界は極めて危険な状況にあり、一日も早く、この危険から脱却せねばならない。

「戦争を滅ぼさねば、人類は戦争に滅ぼされる」。ジョン・Ｆ・ケネディの言葉である。地球社会建設決議は、人類の絶対正義の普遍的価値観であり、戦争を滅ぼす唯一の道であることを確信し、決議するものである。